

市長選挙結果

4月14日に行なわれた市長選挙の結果をお知らせします(有権者数、5万7418人)。

当選 金子 健次 (1万8690票)
佐々木 創主 (1万1652票)



投票区別の投票率

投票区	会場	投票率(%)
第1	柳河ふれあいセンター	58.11
第2	柳河小学校体育館	53.81
第3	城内コミュニティ防災センター	61.30
第5	矢留うぶすな館	52.61
第6	弥四郎町・吉富町公民館	48.00
第7	東宮永小学校体育館	51.87
第8	両開小学校体育館	60.05
第9	昭代第一小学校体育館	51.54
第10	昭代第二小学校体育館	54.05
第11	蒲池小学校体育館	47.61
第12	中村公民館	57.20
第13	大和小学校体育館	50.18
第14	中島小学校体育館	44.63
第15	中島小学校体育館	51.34
第16	有明小学校体育館	45.70
第17	皿垣小学校体育館	56.98
第18	豊原小学校体育館	52.05
第19	六合小学校体育館	51.93
第20	二ッ河小学校体育館	64.36
第21	藤吉小学校体育館	47.65
第22	垂見小学校体育館	58.19
第23	矢ヶ部小学校体育館	51.92
第24	中山校区公民館	55.87
第25	三橋公民館講義室	53.84
市内全域		53.32

市議会議員補選は立花氏

市議会議員補欠選挙は、欠員1名につき、立候補者が無所属で新人の立花純氏(45歳、新町)のみのため、無投票となりました。



立花 純 氏

金子市長が就任2期目の思いを語る 「おもてなしの心」「日本一」のまちを目指して

4月14日の市長選挙で、金子健次市長が2期目の当選を果たしました。「活力があり、みんなが笑顔で暮らせるまちづくり」を進めようと語る金子市長に、今後4年間の抱負や政策、目指すまちづくりについて聞きました。

柳川の未来像をどう描きますか？

柳川は年間100万人を超える観光客が訪れる観光地であると同時に、心豊かなまちでありたいと思います。

川下りコース沿いの清掃、あいさつや親切運動を進め、観光客におもてなしの心で触れ合うことで、市民をあげて「おもてなしの心」「日本一」のまちを目指していきます。

先日、柳川にホームステイした米国の高校生7人と話す機会がありましたが、柳川の自然や景色にとっても感動したと話していました。先人たちが残してくれた、掘割や自然、文化のすばらしさを「おもてなしの心」で伝えていければ、柳川を訪れた人は一生忘れない感動を得ることでしょう。また、私たちも心

豊かになれます。

柳川らしい景観づくりを行いながら、今後10年間で、年間150万人の観光客が訪れるまちにし、産業の活性化につなげていきます。

今後の防災対策は？

昨年7月の豪雨災害から9か月がたちました。この間、たくさんの方のボランティアに駆け付けてもらい、また全国から多くの義援金や物資をいただきました。人の心の温かき、絆の大切さをあらためて実感しました。決壊した矢部川、沖端川については、国と県に働きかけ、今後5年間で約195億円の予算を使い、堤防の強化、漏水対策、橋の架け替えなどが行われることになりました。災害発生時に、連絡体制や避難所での対応など不十分だったところについては、防災計画やマニュアルの

見直しを行い改善していきます。併せて、お年寄りや障害者などの手助けが必要な人を支援していただくよう、自主防災組織の育成も進めながら、災害に強いまちづくりを行います。

人口減少、産業活性化への対策は？

合併から、今年3月までで約5500人の人口が減少しています。人口減少に歯止めをかけるため、農業、漁業の活性化に力を入れています。

商工業のまちを目指し、産業を活性化して雇用の場を拡大します。若者の起業をサポートする施策や、柳川の農水産物を海外へ売り込んだり、農水産物の加工・販売までを視野に入れた事業を展開したりするなど、利益に関われるような仕組みづくりを推進していきます。

併せて、便利で住みよいまち、いわゆるペットタウンとしてのまちづくりも進めていきます。さらに、マイホーム取得の支援や新婚世帯家賃支援など、柳川への移

住・定住支援対策も引き続き行うとともに、「子育てするなら柳川で」と言われるような子育てのしやすい環境を整えていきます。

市民会館やコミュニティセンターの整備は？

市民会館は老朽化が進み、駐車場の狭さや耐震化などの問題がありますので、市民や第三者の意見を聞きながら、規模や建設地を決めて新築します。

建設費用の財源は合併特例債を活用し、財政負担を軽くしたいと考えて

ます。

コミュニティセンターの整備については、今年3月、垂見コミュニティセンターが落成しました。

今後2年間で、大和・三橋地区の各校区での整備を進め、地域の皆さんの活動拠点をつくります。

旧柳川地区の市立公民館についても、より使いやすい施設になるよう、大規模改修を行います。

また、老朽化して建て替えが必要な火葬場やごみ焼却施設については、みやま市と共同で効率的な施設を建設します。

財政は大丈夫ですか？

平成23年度末で、市の借金(市債)は325億円です。このうち、合併特例債など、後から普通交付税としてかえってくるものを差し引くと、実質的な借金は90億円です。貯金(基金)は118億円あります。

合併特例債は、借りたお金の70%が交付税でかえってくる大変有利なものですが、この合併特例債が活用できる期限はあと7年です。

この間に、将来のために今やっておかなければならない道路や水路、

施設などの整備を、財政の見通しを立てた上で計画的に行いますので、柳川の財政は今後も健全です。

今後はさらに、行財政改革を推進し、人件費の削減や市民目線での効率的な行政運営を行っていきます。

合併して8年が経過しましたが、まだまだ旧1市2町の垣根が取り払われていないように感じます。

それぞれの地域の特色を生かしながら、合併して良かったと思えるまちを、市民の皆さんの意見を聴きながらつくっていききたいと思えます。